





若林区の今後に向けて

～たたき台～
(フローチャート版)



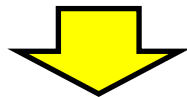
若林区東部地域の抱える課題

<p>①農業の再生</p> 	<ul style="list-style-type: none">・営農形態(専業、集落営農、農業生産法人、兼業など)・職住分離(沿岸地域)か従来型の集落周辺農業(内陸2キロ地域)か・後継者不足	<p>②コミュニティの再生</p> 	<ul style="list-style-type: none">・元の地域に戻ってのコミュニティ再生・移転先での新しいコミュニティ再生・東部道路より東側 若者が少ない 限界集落化の危機 <p>○復興していくためには人をひきつける魅力が必要</p>
<p>③景観の再生</p> 	<ul style="list-style-type: none">・農村景観は農業に適した景観 防風林、防潮林、垣根、イグネ、花・沿岸地域の公園化	<p>④防災の確立</p> 	<ul style="list-style-type: none">・県道亘塩釜線のかさ上げ・高い丈夫な建造物・日ごろからの防災意識



復興に向けて共通する課題は？

- ・農業における後継者不足
 - ・コミュニティ再生における限界集落化の危機
- ◎存続していくためには人の定着が必要



どのように住民、若者を引き寄せるかという問題

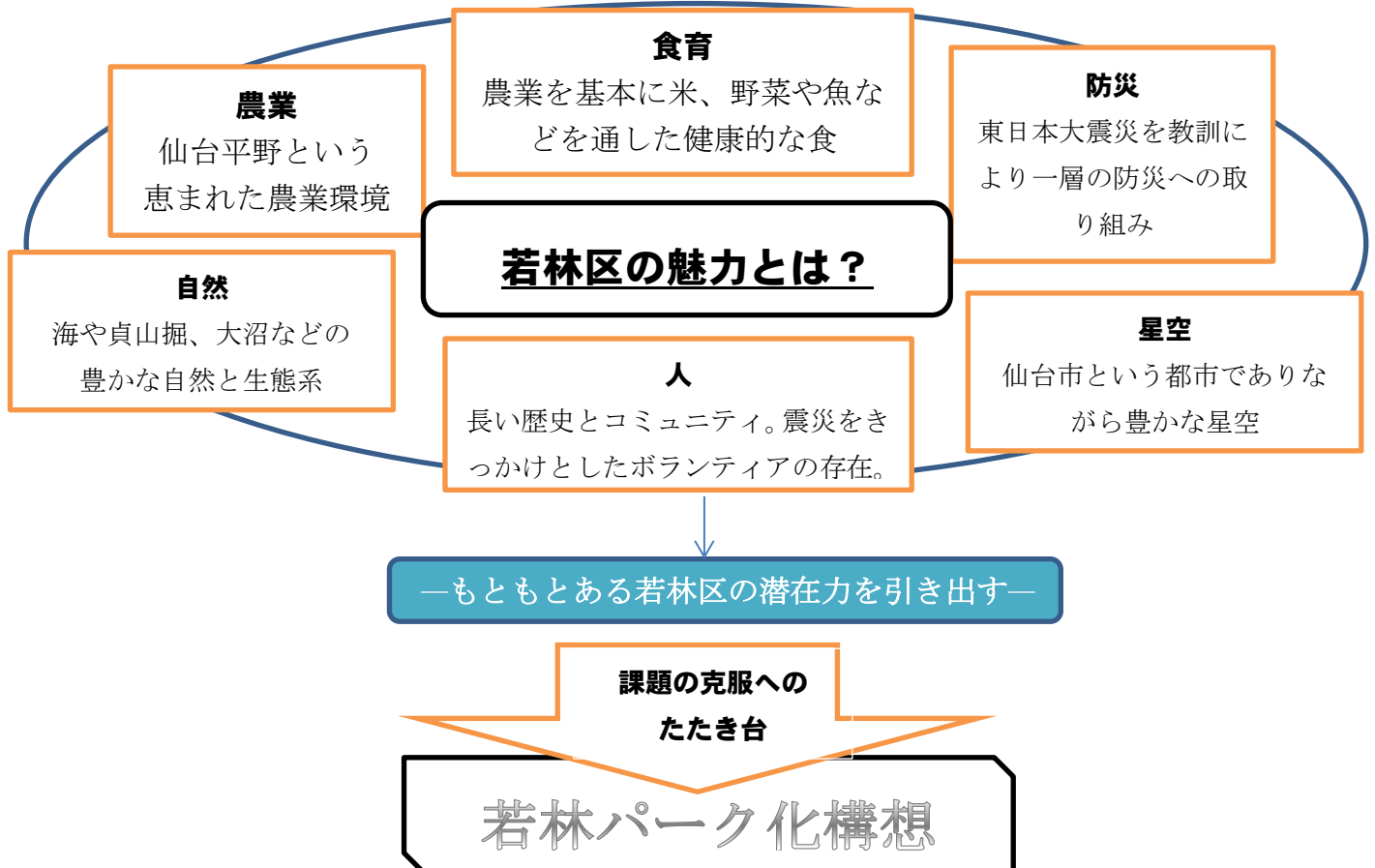
◎農業については後継者や新規就農者を増やすことが求められる

◎コミュニティにおいても、景観においても新しい人が来れば維持ができる

→若林区へ若者がやってきたいと思える地域おこしを考えていく

小さな単位の集落を基本としながら若林区東部地域としてどのような地域づくりをしていく必要があるか。

若林の地域おこしをみんなで考える



若林区東部地域は仙台東ICや今泉ICなどの自動車アクセスや荒井駅の開通による交通手段の利便性など人を集めやすいアクセスポイントである。そこに農業を基本として地域全体が後継者や新規就農者を育生するための研修生の受け入れと、それを受け入れる農家や農業法人などの受け皿作りを行い、農業をはじめやすい地域であることを前提にする。そこに大沼の野鳥観察や魚釣り、沿岸地域における海岸公園化、(松林、貞山掘のボートやカヤック、レストラン、産直野菜、子供の遊び場、井土浦の水鳥、星空が見える展望台などを活用。さらに荒浜小学校の震災モニュメントや避難施設の建設、いずれは深沼海水浴場の再開)東六郷小学校を用いた小中学生の宿泊研修施設、さらに新しい移転先の地域のエコタウン化やソーラーなどを通して地域の魅力を打ち出しブランド化を検討する。

—これらの地域づくりによって新規就農者を含めたコミュニティ再生、若者を引き寄せる—

若林区東部パーク化構想
たてまつり



番号とその色は次ページのものに対応

新しい農業の形

- ① 田んぼの大規模化という方向性の中で、専業農家や兼業農家の圃場を集落周辺に残しつつ、大規模化した圃場を中核農家や集団化の経営体で担うことになる
- ② 畑は専業・兼業が集落周辺で取り組むことに加え、規模の大きな圃場での取り組みも行われる。
*ポイントはどのようにして若林ブランドを作り上げていくか。とくに田んぼについては除塩作業と区画整理で今後3~5年は本格営農再開とはなりにくい・ここで一例として若林地帯として有機米をつくり、できるだけ農薬を使わないお米を、加工米も含めて生産し、若林米をアピールしていく。ファームステイや大学と連携したインターン制度により地域に溶け込めるシステム作り
→地域として受け皿が必要

沿岸地域の公園事業化

- ◎ 荒浜から藤塚までの公園化を地域住民の意見を取り入れて再生。
- ① 荒浜小や周辺をモニュメント化することにより防災意識を高める
- ② 自然とふれあうビオトープや貞山堀を生かしたカヤック・ボート
- ③ 乗馬クラブ
- ④ 冒険広場
- ⑤ 井土浦の芦原と野鳥観察
- ⑥ 花畑、桜やモクレンなどの木
- ⑦ 数年後には海水浴場の再開やサーフィン
- ⑧ 夜の星空や仙台市の夜景を見ることのできる展望台兼避難所
- ⑨ 公園を人が集まれるものとして作り、食堂や売店、産直など

防災のシステム

- ◎ 防災のシステム作り
- ① 県道亙理塩釜線のかさ上げ
- ② 防潮林の再生によって津波災害の減災
避難訓練や防災教育によるいざというときの防災への備え。
→周辺で生活することに安心感を与える。

東六郷小学校の利用

- ① 今後の成り行きははっきりしていないが、建物を利用してボランティア、農業研修生、小中高生、などで使える宿泊所として活用。調理室を利用した食育教育(地元の生産物を利用し、地元の方が教える)、防災教育の展示、農業研修、自然学習、会議室の貸出などに使用できるようにする。

- ① 荒井駅の開通 ② 仙台東インター ③ 今泉インターによるアクセスのよさ
- ④ エコビレッジ ⑤ 園芸センター ⑥ 大沼(釣り、探鳥) ⑦ 荒浜北のソーラーパネル施設

人を引き付ける要素

**若林区東部にある要素を生かして地域全体を一つの公園(若林イーストパーク、農業・復興・自然・エネルギーなどを前面に)として活用していく。この土台に地域の農業がある。ここに地元の住民が仙台市市街地に近く、若林区の魅力を経験してもらえるような仕組みを作っていく。観光地というよりも津波被災地から再生してきた地域おこしの典型としてアピールする。



一般社団法人 ReRoots (リルーツ)

代表：広瀬 剛史

TEL : 022-762-8211

E-mail : reroots311@yahoo.co.jp

ReRoots